

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場取引所 福

上場会社名 RKB毎日放送株式会社

コード番号 9407 URL <http://rkb.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 井上 良次

問合せ先責任者 (役職名) 経理局長

(氏名) 松浦 泰久

TEL 092-852-6624

四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	6,141	7.2	329	4.9	393	7.5	261	15.6
26年3月期第1四半期	5,727	△0.9	313	△11.1	366	△5.1	226	△2.4

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 359百万円 (106.5%) 26年3月期第1四半期 174百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	23.85	—
26年3月期第1四半期	20.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	40,288	27,376	66.5
26年3月期	40,592	27,802	67.0

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 26,809百万円 26年3月期 27,180百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	15.00	15.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,760	2.8	570	△6.6	630	△6.0	400	△2.5	36.47
通期	25,190	△0.2	1,640	△7.0	1,720	△9.3	1,060	△3.8	96.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	11,200,000 株	26年3月期	11,200,000 株
27年3月期1Q	232,558 株	26年3月期	232,558 株
27年3月期1Q	10,967,442 株	26年3月期1Q	10,968,846 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 平成27年3月期の個別業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,340	1.1	640	△7.9	720	△6.3	450	△2.3	41.03
通期	19,180	△0.3	1,480	△7.3	1,590	△7.5	1,010	△3.3	92.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※業績予想の適切な利用に関する説明

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 参考情報	10
(1) 当四半期の個別業績	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税増税の駆け込み需要の反動はあるものの、雇用環境の改善など景気回復基調で推移しております。

そのような状況の中、放送事業、システム関連事業、その他事業収入が前年を上回りました。その結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は61億41百万円(前年同期比 7.2%増)で増収となり、営業利益は3億29百万円(前年同期比 4.9%増)、経常利益は3億93百万円(前年同期比 7.5%増)、四半期純利益は2億61百万円(前年同期比 15.6%増)でいずれも増益となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

①放送事業

放送事業は、収入43億26百万円(前年同期比 3.0%増)、営業利益2億44百万円(前年同期比 5.5%減)となりました。

テレビ部門は、収入37億53百万円(前年同期比 0.0%減)となりました。タイム収入は3.6%増と前年を上回りましたが、スポット収入は、消費税増税の駆け込み需要の反動の影響もあり、2.5%減となりました。業種別では、通信・放送、輸送機器などが伸びたものの、流通・小売、アルコール飲料、化粧品・洗剤・トイレタリなどが落ち込みました。

ラジオ部門は、収入5億72百万円(前年同期比 28.6%増)となりました。スポット収入は27.7%増、タイム収入も新規イベントの実施等により28.2%増となりました。

②システム関連事業

システム関連事業は、収入8億38百万円(前年同期比 11.7%増)、営業損失1億29百万円(前年同期は営業損失1億17百万円)となりました。

ソフトウェア開発業界では業界内の競争が一層の厳しさを増す中、積極的な営業活動を展開した結果、民間向けソフトウェア開発の受注が増加し、増収となりました。利益面では、開発コストの増加により損益の改善には至りませんでした。

③不動産事業

不動産事業は、収入2億59百万円(前年同期比 2.8%減)、営業利益1億74百万円(前年同期比 4.2%減)となりました。

テナント収入の減少により、減収減益となりました。

④その他事業

その他事業は、収入7億16百万円(前年同期比 40.7%増)、営業利益39百万円(前年同期は営業損失9百万円)となりました。

催事部門では、JR九州ホールで「アートアクアリウム展～博多・金魚の祭～」を開催し、約32万人の入場者を集めました。このほか、アクロス福岡で「オペラ夕鶴」などを開催し、増収となりました。利益面では増収により営業利益を確保しました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3億3百万円減少し、402億88百万円となりました。これは主に、未収金が5億40百万円、現金及び預金が3億93百万円増加したものの、回収等により受取手形及び売掛金が15億43百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の総負債は、前連結会計年度末に比べ1億22百万円増加し、129億12百万円となりました。これは主に、未払法人税等が2億60百万円減少したものの、退職給付に係る負債が8億67百万円増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ4億26百万円減少し、273億76百万円となりました。これは主に、退職給付に関する会計基準の変更等により、利益剰余金が4億91百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間および通期の連結および個別の業績予想につきましては、平成26年5月16日の公表いたしました予想数値から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計上については法定実効税率をベースとし、年間予測税率により計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が9億58百万円増加し、利益剰余金が5億89百万円減少しております。また、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,920	5,314
受取手形及び売掛金	4,179	2,635
有価証券	130	130
たな卸資産	78	218
その他	2,913	3,518
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	12,219	11,815
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,446	7,422
機械装置及び運搬具(純額)	1,010	938
土地	13,319	13,319
その他(純額)	873	936
有形固定資産合計	22,650	22,616
無形固定資産		
432		325
投資その他の資産		
投資有価証券	4,059	4,217
その他	1,236	1,319
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	5,290	5,531
固定資産合計	28,372	28,473
資産合計	40,592	40,288
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	402	158
短期借入金	561	561
未払法人税等	450	189
アナログ設備撤去引当金	10	10
その他	3,437	3,397
流動負債合計	4,862	4,316
固定負債		
長期借入金	480	480
退職給付に係る負債	5,434	6,301
負ののれん	7	3
その他	2,006	1,810
固定負債合計	7,927	8,595
負債合計	12,789	12,912

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	560	560
資本剰余金	4	4
利益剰余金	26,472	25,981
自己株式	△177	△177
株主資本合計	26,859	26,368
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	539	639
退職給付に係る調整累計額	△218	△198
その他の包括利益累計額合計	320	441
少数株主持分	622	566
純資産合計	27,802	27,376
負債純資産合計	40,592	40,288

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	5,727	6,141
売上原価	3,451	3,778
売上総利益	2,275	2,362
販売費及び一般管理費	1,962	2,033
営業利益	313	329
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	47	50
その他	12	18
営業外収益合計	61	69
営業外費用		
支払利息	8	4
その他	0	0
営業外費用合計	8	4
経常利益	366	393
特別利益		
国庫補助金	0	-
特別利益合計	0	-
特別損失		
固定資産除売却損	0	3
その他	-	0
特別損失合計	0	3
税金等調整前四半期純利益	366	390
法人税等	159	151
少数株主損益調整前四半期純利益	207	239
少数株主損失(△)	△19	△22
四半期純利益	226	261

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	207	239
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32	100
退職給付に係る調整額	—	20
その他の包括利益合計	△32	120
四半期包括利益	174	359
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	193	382
少数株主に係る四半期包括利益	△19	△22

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	放送事業	システム 関連事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,200	751	267	509	5,727	—	5,727
セグメント間の内部売上高 又は振替高	41	12	73	201	329	△329	—
計	4,241	763	341	710	6,057	△329	5,727
セグメント利益又は損失(△)	259	△117	182	△9	313	△0	313

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	313
セグメント間取引消去	△0
四半期連結損益計算書の営業利益	313

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	放送事業	システム 関連事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,326	838	259	716	6,141	—	6,141
セグメント間の内部売上高 又は振替高	40	16	73	196	326	△326	—
計	4,366	854	333	913	6,467	△326	6,141
セグメント利益又は損失(△)	244	△129	174	39	329	△0	329

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	329
セグメント間取引消去	△0
四半期連結損益計算書の営業利益	329

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 参考情報

(1) 平成27年3月期第1四半期の個別業績 (平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(百万円未満切捨て)

【個別経営成績(累計)】

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	5,109	6.4	421	3.6	506	4.9	323	11.4
26年3月期第1四半期	4,803	0.2	406	7.1	483	16.6	290	19.8

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
27年3月期第1四半期	29	52	—	—
26年3月期第1四半期	26	48	—	—

【個別財政状態】

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	34,168	73.3	25,051	73.3		
26年3月期	34,081	74.3	25,311	74.3		

【個別売上明細】

	前第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)		増減	
	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)
テレビ収入	3,788	78.9	3,785	74.1	△2	△0.1
ラジオ収入	453	9.4	581	11.4	127	28.1
不動産事業収入	248	5.2	242	4.7	△5	△2.3
その他事業収入	313	6.5	500	9.8	186	59.7
合計	4,803	100.0	5,109	100.0	306	6.4

(注) この四半期財務諸表(個別)は、四半期財務諸表等規則に基づき当社が任意で作成したものです。